

島根県立石見美術館
コレクション展「彫りの極めびと」の開催について

島根県立石見美術館では、コレクション展「彫りの極めびと」を下記の通りに開催いたします。

記

1. 会 期 2019年11月23日(土)～2020年1月4日(土)

休館日＝毎週火曜日、年末年始(12/28～1/1)

2. 会 場 島根県立石見美術館 展示室C(グラントワ内)

3. 展覧会概要及び見どころ

当館コレクションのなかから、木彫を中心に、彫りの技が堪能できる作品群をご紹介します。島根県は従来、森林資源に恵まれた県です。木材の種類が豊富なだけでなく、島根県産の杉、檜、松などは加工性に優れ、丈夫で美しい木目を持つことで知られています。こうした環境からか、島根県は、これまで優れた彫刻家たちを数多く輩出してきました。

明治期に生を受けた米原雲海や内藤伸は、江戸以前の伝統的な手法を引き継ぎながら、近代木彫の新たな表現と可能性を追求しました。また現在活躍を続ける澄川喜一は、木に内在する自然の美を生かし、日本の伝統的な形「そり」と「むくり」を造り出し、抽象的な表現に昇華させています。いずれも人の手により生み出された独特の温もりをまとい、木材本来の性質を見極め、その豊富な種類を活かした幅のある表現に圧倒されます。

本展では、見応えのある「彫りの極めびと」の世界をご堪能いただきます。

4. 展示点数 約 13 点



米原雲海「仙丹」1910年



内藤伸「豊公」1918年

※別途、民間の配信サービスを利用し情報発信する予定です。